

福島第一原子力発電所1号機格納容器内調査状況 (10月12日～13日実施分)

<参考資料>
平成24年10月15日
東京電力株式会社

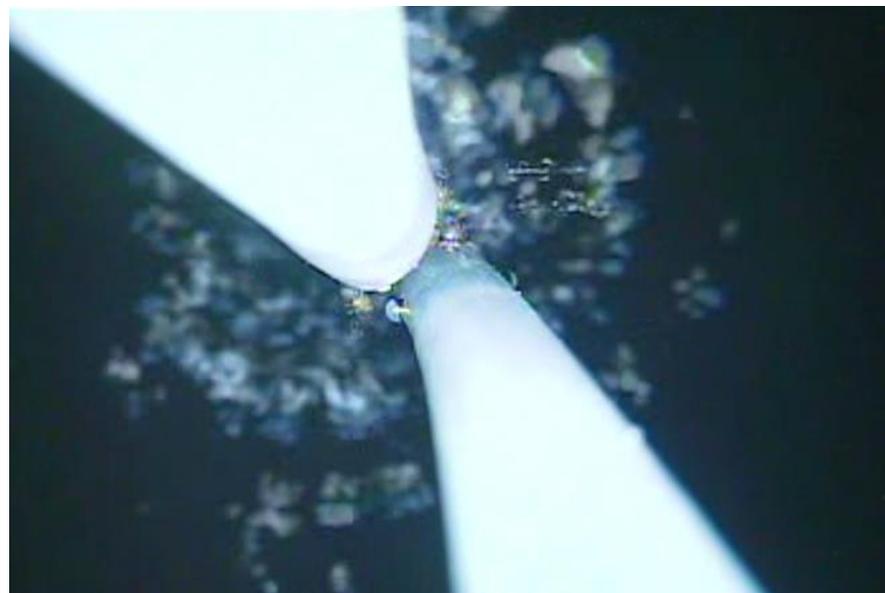
滞留水サンプリング (10月12日実施)

【滞留水サンプリング調査の作業実績】

- 作業人数：48人
- 作業時間：10月12日午前10時頃～午後0時45分頃



①水面到達



②サンプリングの様子

撮影日：平成24年10月12日
提供：東京電力株式会社

(参考) 現場風景



③常設監視装置
(シールボックス)



④サンプリング作業風景

撮影日:平成24年10月12日、13日
提供:東京電力株式会社

(参考) 遮へい容器への移し替え



⑤ 遮へい容器



⑥ 遮へい容器への移し替え

撮影日:平成24年10月12日
提供:東京電力株式会社

常設監視装置設置（10月13日実施）

【常設監視装置設置作業実績】

- 作業人数：50人
- 作業時間：10月13日午前9時頃～午後1時30分頃



⑦水面へ到達



⑧設置状況(水中)

撮影日：平成24年10月13日
提供：東京電力株式会社

福島第一原子力発電所1号機原子炉格納容器内部調査結果について

平成24年10月15日
東京電力株式会社

【実施事項】

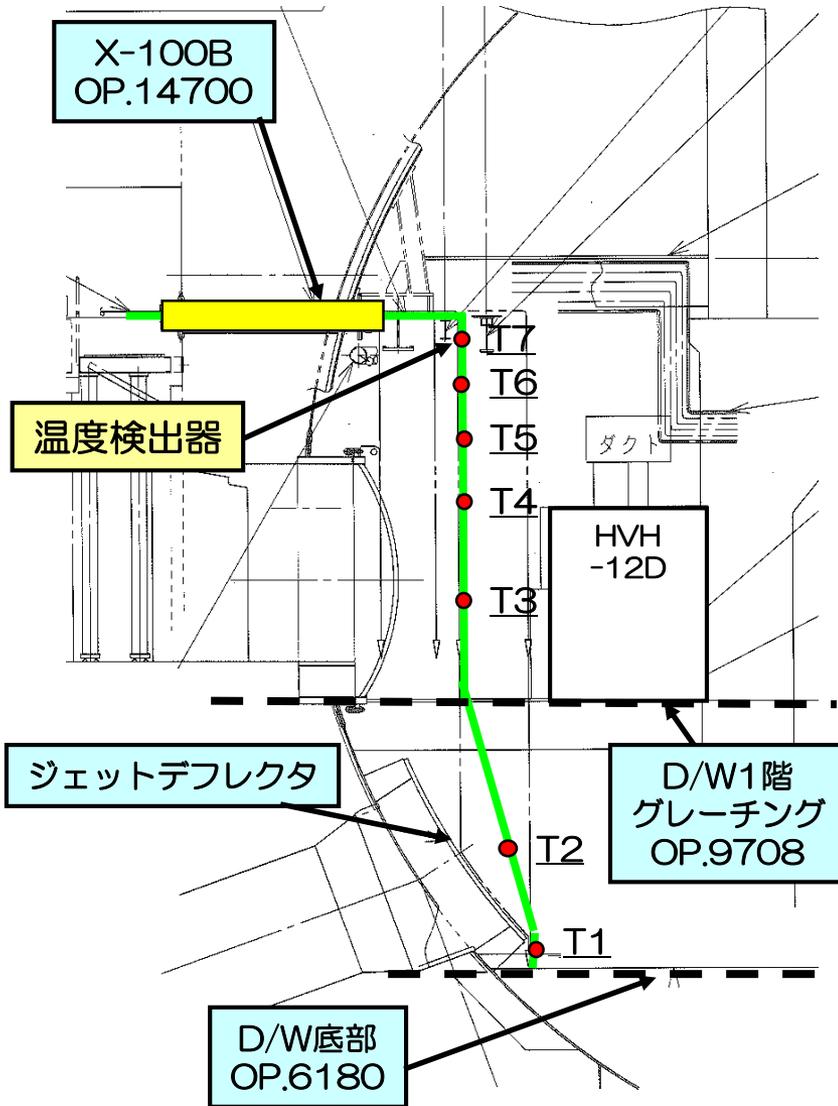
×100Bペネ（9/26孔開け加工済）から調査装置を挿入することにより、以下の調査を実施する。

No.	実施日	実施内容	調査装置	個人最大被ばく線量【mSv】
1	10/9	首振りカメラによる内部撮影 （1階グレーチング上部）	パン・チルト カメラ	2.74
2	10/10	滞留水の水位・雰囲気線量の測定	CCDカメラ 線量測定器	2.13
3	10/11	CCDカメラによる内部撮影 （1階グレーチング下部）	CCDカメラ	1.83
4	10/12	滞留水の採取	サンプリング装置	1.72
5	10/13	常設監視計設置 （雰囲気温度、滞留水温度、 滞留水水位）	熱電対 水位センサ	2.33

※計画線量：10mSv/人・日

1号機原子炉格納容器内部調査常設温度・水位計設置

既設温度計との比較 単位[mm]



新設温度計

[10月13日 13時データ]

T7	OP.14500	35.1℃
T6	OP.14000	34.8℃
T5	OP.13230	34.6℃
T4	OP.12500	34.3℃
T3	OP.11200	34.1℃
T2	OP.7500	37.4℃
T1	OP.6330	37.0℃

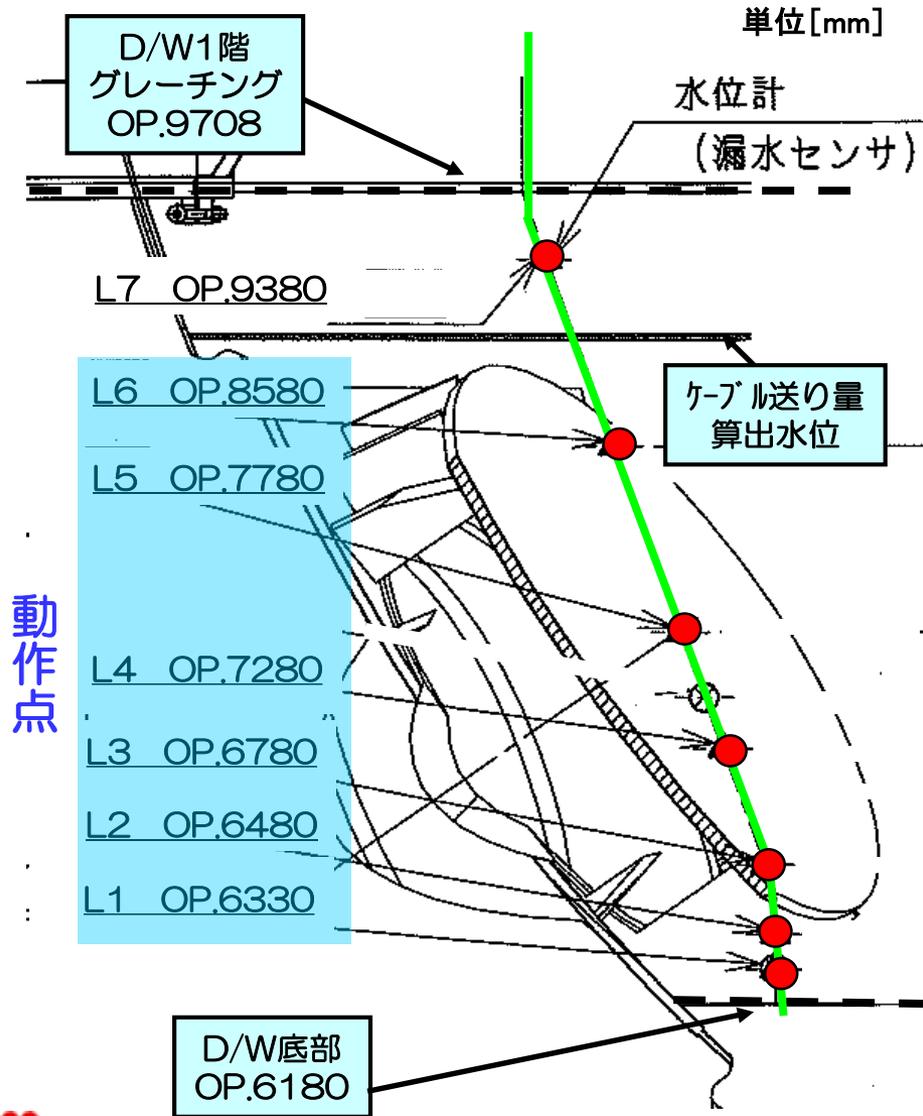
既設温度計

[10月13日 13時データ]

OP.14000	TE-1625J HVH12D供給	41.5℃
OP.11200	TE-1625D HVH12D戻り	34.4℃

1号機原子炉格納容器内部調査常設温度・水位計設置

■原子炉格納容器内水位計動作点の確認



L1～L6動作, L7不動作であり
PCV水位は
L6 : 8580～L7 : 9380mm
の範囲にある

⇒ケーブル送り量からの算出値
約9000mm(10/10計測)
と一致

1号機原子炉格納容器内部調査常設温度・水位計設置

■ 今回の結果

① 原子炉格納容器内温度

今回新規に設置した熱電対に関して、挿入後の直流抵抗値が判定値内であることを確認し、近傍の既設温度計（監視温度計）とほぼ同様の値を示しており、問題なく設置されていることを確認した。

② 原子炉格納容器内水位

水位検出器動作点がケーブル送り量から算出した水位と一致しており、問題なく設置されていることを確認した。

■ 当該計器の今後の扱いについて

今後1ヶ月を目安に、既設の原子炉格納容器雰囲気温度計指示値との相関、炉注水流量の変更や外気温変動等の変化に応じた挙動を示しているかの確認を行い、冷却状態の監視に使用できるかを検討していく。